家　庭　用
浴室内設置専用

24時間温水浄化システム

ニュースパージョイⅡ

LC-361

取扱説明書（設置工事説明書別添付）

このたびは、24時間温水浄化システム“ニュースパージョイⅡ”をお買い上げいただきありがとうございます。末永く安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、保証書と設置工事説明書とともに大切に保管してください。

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめてお受け取りください。
●設置工事説明書に従った正しい工事を行なってください。
●取扱説明書、設置工事説明書の記載通りに使用および設置をされなかった場合の製品の故障、事故について当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

保証書別添付

1 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、**「警告」「注意」**の2つに区分しています。

警告 この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が損害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

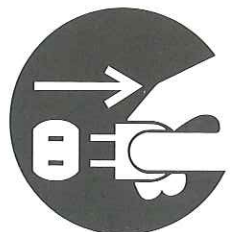
 記号は、**警告・注意**を促す内容があることをお知らせするものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

例 一般的な注意

 記号は、**禁止の行為**であることを告げるものです。

図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

例 一般的な使用禁止

 記号は、行為を**強制**したり**指示**したりする内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてください）が描かれています。

例 一般的な指示　 必ずアースを接続せよ

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

感電・火災の恐れあり

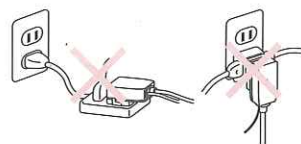
●お客様ご自身での工事はしない。

本体設置及び移設についてはお買い求めの販売店またはお客様相談室（P.35参照）に依頼してください。

●電源コンセントは浴室及び屋外コンセントを使用しない。

●工事後のお客様ご自身による変更工事はしない。

●電源コンセントは、他の器具と併用しない。

定格15A以上の電源コンセントに単独で直接、接続してください。
延長コードや三叉コンセントなどは使用しないでください。

●漏電保護プラグは、コードを上向きにして電源コンセントに差し込まない。

漏電保護プラグは、コードを下向きにして、
確実に電源コンセントに差し込んでください。

●差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない。

●漏電保護プラグや電源コンセントに、湿気やほこりを近づけない。

時々、漏電保護プラグや電源コンセントを乾いた布で拭いてください。

●本体に異常が発見された場合は使用しない。

漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて販売店またはお客様相談室（P.35参照）へご連絡ください。

●濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。

●漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。

●水道管、ガス管等にアース線を接続しない。

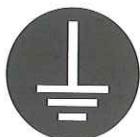
ご使用前にアース線の接続を確認してください。

●本体を浴槽中に落としたときは、浴水にさわらない。

漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてから本体を引き上げ、販売店またはお客様相談室（P.35参照）にご相談ください。落とした本体は絶対に使用しないでください。

警告

感電・火災の恐れあり

●本体を分解・改造・修理しない。

●アース線が取り付けられていない場合は、使用しない。

コンセントのアース端子への接続、またはD種接地工事が必要です。
D種接地工事は、必ず電気工事店に依頼してください。

ケガなどの恐れあり

●風呂ふたの上に手をついたり、乗ったりしない。

特に小さなお子様は、浴槽に落ちる恐れがあります。

●泡出しユニットの吸込口に手や足、髪の毛を近づけない。

吸い込まれる恐れがあります。

●泡出しユニットのフィルターセットがゆるんだ状態や外れた状態及びトップフィルターを外したまま運転しない。

●浴水に潜らない。

髪の毛が吸い込まれ、溺れる恐れがあります。

●小さなお子様だけでの入浴はさせない。

●湯かげんを確認せずに入浴しない。

ヤケドの恐れがあります。

注 意

感電・火災の恐れあり

●浴水を確認しないで追い焚きしない。

浴水が満たされていることを確認してください。

●2日以上留守にする場合は、本体を運転しない。

漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。

●雷が鳴っている場合は、運転しない。

漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。
雷通過後は、運転方法（P.12参照）に従い運転を再開させてください。

●長期間、本体を停止させたままで湿気の多い場所（浴室等）に放置しない。

●本体に直接、水やお湯をかけない。

●漏電保護プラグは、浴室や水がかかるところに設置しない、水をかけない。

ケガなどの恐れあり

●本体の上に乗ったり、モノを置いたり、押したり引っ張ったりしない。

●浴水は、飲まない。

細菌などで疾病を起こす原因となることがあります。

●皮膚に異常（湿疹・かゆみなど）を感じた場合や傷・化膿症の方、その他疾患がある方は、使用しない。

専門医に相談してください。

●紫外線ランプの光を直視しない。

体調を損なう恐れあり

●体調がすぐれないときは、泡出し運転や泡風呂、ジェットバスを使用しない（P.14参照）。

気分が悪くなったり、体調をくずす恐れがあります。
医師に治療を受けている方、極度に身体が弱っている方や乳幼児は避けてください。

●気泡を目や耳に直接当てたり、噴流を身体の同じ部分に当て続けない。

炎症やかゆみなどを起こす恐れがあります。

●浴水をシャワーや打たせ湯などに使用しない。

細菌などで疾病を起こす原因になることがあります。

●入浴前に、かけ湯をしてから入浴する。

身体に付着した土ぼこりなどをなるべく浴水中に持ち込まないようにしてください。

●「日常のお手入れ」（P.20参照）に従って、正しくお手入れを行なう。

故障の原因や細菌が異常に増える恐れがあります。

浴槽・浴室に影響あり

●浴槽の材質を確認せずに、本機を設置しない。

ポリエステル系人工大理石浴槽など一部の浴槽には、浴水を長期にわたり貯めて継続使用しますと、浴槽の表面に荒れ・膨れ・変色が起こる場合があります。

●浴槽の金属部にステンレス製の部品以外を使わない。

浴槽に使われている排水口やチェーンなどの金属部は水質によりメッキがはがれてサビることがあります。

●浴室内に湿気を溜めない。

カビの原因になりますので換気をしっかりと行なってください。

●浴水は、熱帯魚や金魚等の飼育用の水として使用しない。

環境が変わり死ぬ場合があります。

●本機は一般家庭用以外では使用しない。

【快適にお使いいただくために】

●身体を洗った後のかけ湯には、浴水を使ってください。

浴水が減った分、足し湯を行なうことにより、お湯の交換を促すことになります。

●本体は、シンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

●水道水を使用してください。

井戸水や温泉水などを使用すると故障の原因になります。

●砂、小石、水面に浮いた髪の毛などはろ過できませんので取り除いてください。

●入浴剤、石鹸、シャンプー、ゆず、薬草などを浴槽に入れないでください。

本体や浄化に悪影響を及ぼします。誤って入れた場合は、浴水を入れ替えてください。(P.29参照)

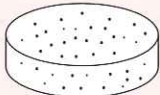
●お湯の沸かし過ぎにご注意ください。

泡出しユニットが変形したり本機の
故障の原因になります。

2 目次

3 各部の名称

本　体

漏電保護プラグ
（漏電があった場合、
電源を遮断します）
バスケットOリング
（本体内への水の浸入を防ぎます）
ろ材
バスケット
操作パネル
ろ材撹はん棒
キャップ
サイドカバー
電源コード
脚
入出排水口栓
（設置工事の際に
取り外します）
紫外線ランプ
（浴水中の大腸菌などの
繁殖を抑制します）
ランプキャップ
飾りネジ

泡出しユニット

付属品 （設置工事時に使用した部品は除く。設置工事説明書表紙参照）

トップフィルター （泡出しユニットへ取り付けます）（2枚）	**通水ポンプ** （むかえ水時に使用します）	**入水口アダプター** （通水ポンプに接続して使用します）	**キャップスパナ** （キャップを開閉する際に使用します）
スポンジ （浴槽などのヌメリ取りに使用します）	**洗浄ブラシ** （泡出しユニットなどのヌメリ取りに使用します）		

●取扱説明書、設置工事説明書

●保証書

●異常表示と処置方法シール

操作パネル表示

1.運転ランプ
3.温度表示部
4.設定温度ランプ
6.自動エコノミー運転ランプ
7.ノーマル運転ランプ
9.ジェット運転ボタン
11.保温機能（入）ランプ
12.保温機能（入／切）ボタン
15.熱洗浄自動ランプ
16.熱洗浄ボタン
Living Technology
newspajoyII
運転
現在の湯温
℃
エラー ▶ 点滅
45
40
35
温度設定
自動エコノミー
ノーマル
エコノミー
ジェット
エコノミー
保温
紫外線ランプ
交換
交換終了
自動
熱洗浄
設定変更
17.設定変更ボタン
2.運転ボタン
14.紫外線ランプ交換終了ボタン
13.紫外線ランプ交換ランプ
10.エコノミー運転ボタン
8.エコノミー運転ランプ
5.温度設定ボタン

表示部の説明

1.運転ランプ【緑】……本体運転中に点灯します。

2.運転ボタン……運転を入・切します。

3.温度表示部……現在の浴水温度を表示します。熱洗浄時の「CL」「HI」表示（P.15参照)、お手入れ表示及び本体の異常を表示します。(P.33参照)

4.設定温度ランプ……浴水の設定温度を表示します。
35～38℃【緑】　39～41℃【橙】　42～45℃【赤】

5.温度設定ボタン（△▽）……浴水の温度を35～45℃の間で設定します。（1℃単位)

6.自動エコノミー運転ランプ【緑】……自動エコノミー運転を行なっている場合に点灯します。(出荷時は、消灯しています)

7.ノーマル運転ランプ【緑】……ノーマル運転時に点灯します。

8.エコノミー運転ランプ【緑】……エコノミー運転時に点灯します。

9.ジェット運転ボタン……通常の水流から勢いのあるジェット運転に切り換えます。(5分経過後に自動停止します)

10.エコノミー運転ボタン……ノーマル運転と経済的なエコノミー運転とを切り換えます。

11.保温機能（入）ランプ【緑】……保温機能が働いている場合に点灯します。

12.保温機能（入／切）ボタン……保温機能を入切します。(P.18参照)

13.紫外線ランプ交換ランプ【赤】……紫外線ランプの交換時期になると点滅します。（P.27参照)

14.紫外線ランプ交換終了ボタン……紫外線の積算時間をリセットします。（P.27参照)

15.熱洗浄自動ランプ【橙】……熱洗浄機能が自動設定されている場合に点灯します。(設置当初は自動に設定されているので点灯しています)（P.15参照)

16.熱洗浄ボタン……連続して3秒間押した場合、強制的に本体の熱洗浄が開始され、2回目以降の開始時刻が設定されます。(P.15参照)

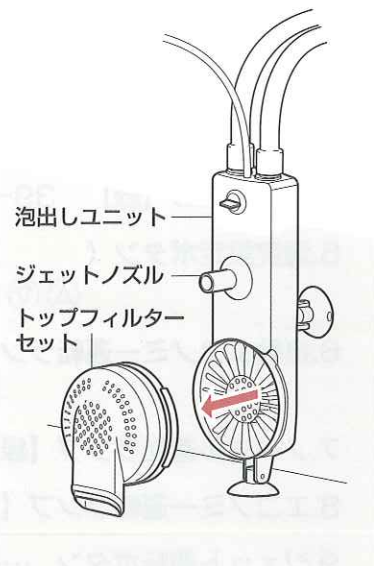
17.設定変更ボタン……自動エコノミー運転の設定変更を行ないます。（P.17参照)

※上記の各ボタンを押すと「ピッ」と音が鳴ります。

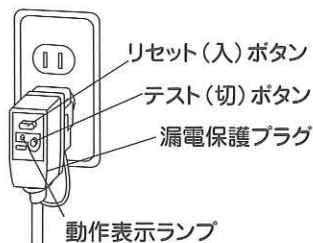
4 使い方

運転および停止方法

＜運転方法＞

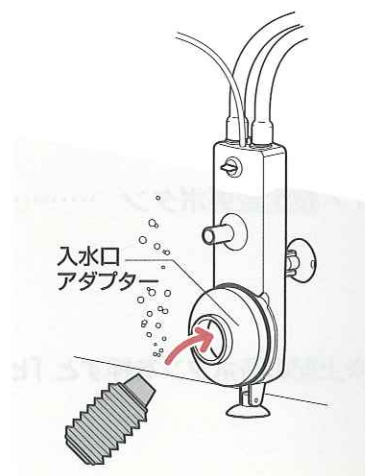
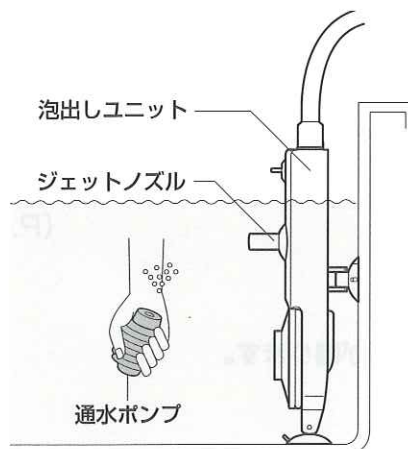
(1) 泡出しユニットのトップフィルターセットを外してください。

(2) 泡出しユニットのジェットノズルの上まで浴槽にお湯を入れてください。

(3) 漏電保護プラグをコードを下向きにして電源コンセントに差し込んでください。

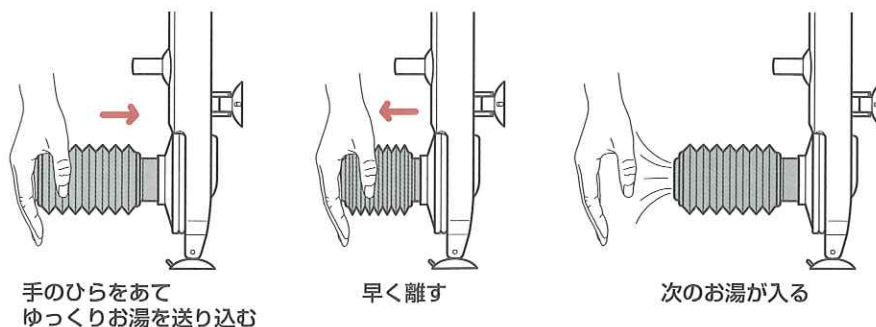
※この時、約40秒間本体の温度表示部に「−−」が点滅表示されます。表示されていない場合は、漏電保護プラグの動作表示ランプを確認してください。動作表示ランプが点灯している場合は、［リセットボタン］を押してください。

⚠ 警　告

- ●コードを上向きにして漏電保護プラグを差し込まない。
- ●延長コードや三叉コンセントなどを使用しない。
- ●差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない。

火災の原因になります。

(4) 右図のように、入水口アダプターを泡出しユニットの入水口に取り付け、通水ポンプを浴槽に沈め、中の空気を抜いてから、入水口アダプターに差し込んでください。

(5) 本体の［運転ボタン］を押してください。運転が開始されます。

（6）入水口アダプターに差し込んだ通水ポンプで本体にお湯を送り込んでください。

図のように通水ポンプの穴に手のひらを当て、充分に押しつけてお湯を送り込み、素早く手を離してください。ジェットノズルよりお湯が勢いよく流出するまでこの動作を繰り返してください。

※上記の操作を**むかえ水**（呼び水）といいます。

※むかえ水（呼び水）をしている最中に本体の温度表示部に E3 の点滅表示が出た場合は、運転ボタンを押し、一度本体を停止させてから手順（5）に戻り、再度むかえ水（呼び水）を行なってください。

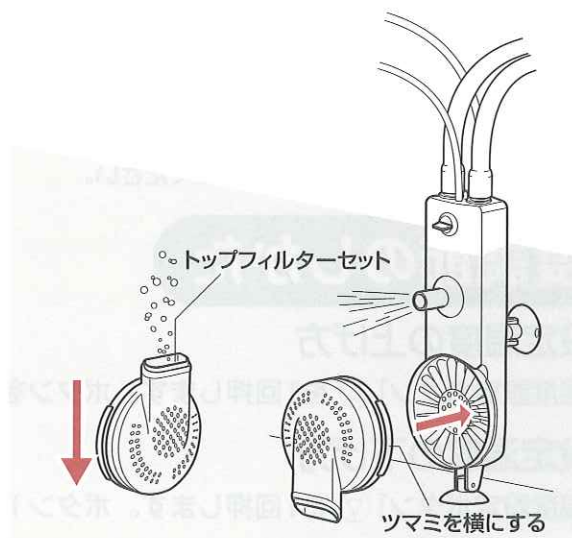
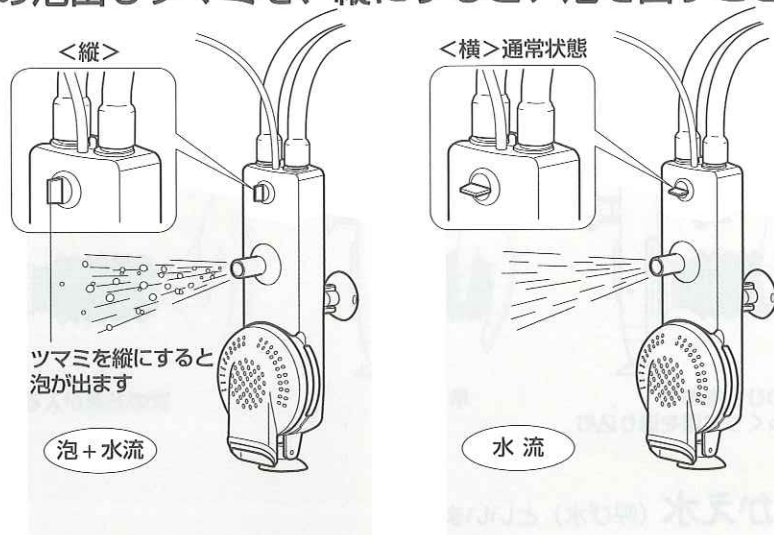
※むかえ水（呼び水）を数回繰り返しても E3 の点滅表示が出る場合は、設置工事説明書「10.ろ材のセット」（P.20）を参照してください。

お知らせ

●ポンプ運転開始時にやや大きな音がすることがありますが、運転開始後音が止まれば異常ではありません。
これは本体ポンプ内にお湯が完全に入っていないために起こる現象です。

（7）ジェットノズルからお湯が勢いよく流れ出したら運転開始です。運転が始まったら入水口アダプターを外し、トップフィルターセットを泡出しユニットに取り付けてください。

⚠ 警　告

●泡出しユニットのフィルターセットがゆるんだ状態や外れた状態及びトップフィルターを外したまま運転しない。

(8) 泡出しユニットの泡出しツマミを、縦にすると、泡を出すことができます。

＜停止方法＞

(1) 本体の［運転ボタン］を押してください。運転ランプが消灯します。

(2) 漏電保護プラグを電源コンセントから抜きます。

⚠ 警　告

●濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。

●漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。

感電・火災の原因になります。

※以上で本体の停止は終了ですが、長期間本体を停止する場合は、「長期間お使いにならないときには」(P.29)を参照の上、お手入れを行なってください。

温度調節のしかた

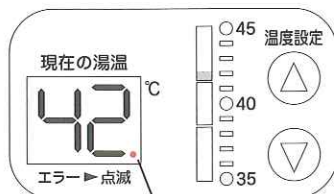
(1) 設定温度の上げ方

[温度設定ボタン] △ を1回押します。ボタンを1回押すごとに1℃上がります。

(2) 設定温度の下げ方

[温度設定ボタン] ▽ を1回押します。ボタン1回押すごとに1℃下がります。

お知らせ

●本体に取り込んだ浴水の温度を湯温として表示しています。水を補給した場合など、一時的に表示温度が下がることがあります。また、ホースの長さ及び設置条件により、湯温と表示温度に若干の差が出る場合があります。

※左端の温度表示部には、現在の湯温が表示されます。

※設定できる温度は35～45℃です。(1℃毎)

湯温表示部右下の赤いランプが点灯しているときは加温中です。

本体の自動熱洗浄について

本機は、浄化機能を衛生的に管理するため、14日おきに自動的に本体が熱洗浄されるように設定されています。

熱洗浄とは、①ろ材に付着している汚れを落とす。
②本体内部のみを約60～70℃の高温にする。

の2項目を同時に行い、浴水の浄化を衛生的に管理する機能です。

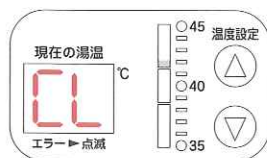
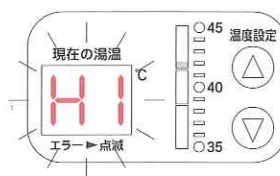
（1）自動熱洗浄の開始時刻

自動熱洗浄の開始時刻は、本機を運転し始めた時刻に設定されます。14日毎に、その時刻になると自動的に熱洗浄を開始します。（設置後最初の熱洗浄のみ、運転開始21日後に熱洗浄が行なわれます。）

（2）開始時刻の変更

自動熱洗浄の開始時刻を変更したい場合（入浴時間外に設定する場合など）には、変更したい時刻に［熱洗浄ボタン］を3秒間押して強制的に熱洗浄を行ないます。次回からは14日毎にこの時刻に熱洗浄が自動的に開始します。

お知らせ

- お手入れなどで本体を漏電保護プラグで停止させた場合（P.28参照）、本体が停止した時間だけ自動熱洗浄の開始時刻が前回とずれますのでご注意ください。
- ［熱洗浄ボタン］を押すと、熱洗浄開始までの残日数が約10秒間表示されます。
- 強制的な熱洗浄を頻繁に行なうと、浄化を損なう恐れがあります。

［熱洗浄時］
現在の湯温表示がCLになります。

［復帰時］
現在の湯温表示がHIの点滅になり、ブザー音とともに、浴水の循環を開始（45秒間）します。
その後、湯温が表示されます。

（3）熱洗浄中の解除

熱洗浄中に、強制的に熱洗浄を終了させたい場合は、［熱洗浄ボタン］を押すと強制終了されます。

⚠注　意

- 熱洗浄が終了すると自動的に運転状態に復帰します。その際、少量の約60℃のお湯がジェトノズルより間欠的に出てきますのでご注意ください。
- 排水ホースが接続されていることを確認してください。熱洗浄時には、洗浄開始とともに排水ホースから約20Lのお湯が排出されます。
- 熱洗浄はお湯を約20L程度使用しますので、減った分だけ給湯または給水してください。
- 自動熱洗浄時刻は、入浴時間外に設定する。
  自動熱洗浄は約40分程度かかります。その間、浴水は循環されません。

ジェット運転のしかた

ジェット運転は、流量をノーマル運転の1.2倍程度に増し、勢いのあるジェット水流にします。

（1）［ジェット運転ボタン］を押します。

ジェット運転は5分間運転し、自動的に通常運転に戻ります。

（2）ジェット運転中に［ジェット運転ボタン］を押すと通常運転に戻ります。

お知らせ

●本体は電源投入から24時間おきに、30秒間自動的にジェット運転を行ないます。これは、浄化促進のためで、故障ではありません。

エコノミー運転のしかた

エコノミー運転は、流量をノーマル運転の3/4程度に抑え、ポンプにかかる電力を節約します。

（1）［エコノミー運転ボタン］を押します。

（2）［エコノミー運転ランプ］が点灯し、エコノミー運転を行ないます。

「自動エコノミー運転ランプ」が点灯している場合は、［エコノミー運転ボタン］を押しても、エコノミー運転にはなりません。この場合、自動エコノミー運転を解除してください。（P.17参照）

（3）再度［エコノミー運転ボタン］を押すと、ノーマル運転に戻ります。

お知らせ

●エコノミー運転はノーマル運転に比べ循環流量が少ないため、ヌメリが付き易くなったり、浄化性能が低下する場合があります。その場合は、ノーマル運転を行なってください。

自動エコノミー運転について

自動エコノミー運転は、ノーマル運転とエコノミー運転を一定時間毎に自動的に切り換えます。

(1) ［設定変更ボタン］を3秒間押し続けます。

(2) 温度表示部が温度表示から運転時間表示（点滅）に変わります。

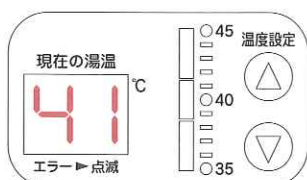
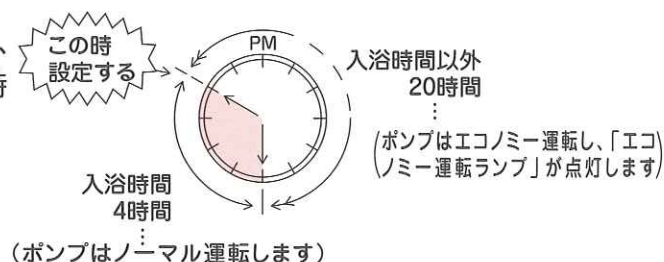
(3) ［温度設定ボタン］△▽を押し、エコノミー運転時間を設定します。

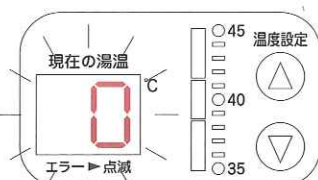
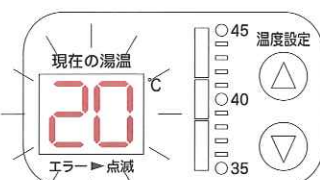
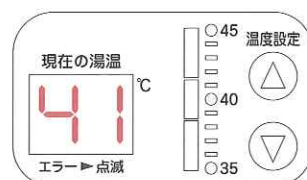
(4) 30秒以上そのままにしておくと運転時間表示が湯温表示に戻り、「自動エコノミー運転ランプ」が点灯します。

(5) 湯温表示に戻った時から、設定した時間エコノミー運転を行ないます。

エコノミー運転（設定時間作動します）⇄ ノーマル運転（設定した以外の1日の残りの時間作動します）が自動的に繰り返されます。

※自動エコノミー運転時には［エコノミー運転ボタン］を押してもポンプ運転をノーマルおよびエコノミー 運転に切り換えることはできません。切り換える場合は（6）に従って自動エコノミー運転を解除してください。

例）午後6時から10時までの4時間をノーマル運転、その時間以外（午後10時～午後6時までの20時間）を自動エコノミー運転に設定する場合

1.午後10時頃になったら［設定変更ボタン］を3秒間押し続けます。

2.温度表示部が温度表示から時間表示（点滅）に変わります。

3.［温度設定ボタン］△▽を押し、運転時間表示を"20"に合わせてください。
・運転時間表示はエコノミー運転時間を表しています。

4.温度表示部の運転時間表示（点滅）が"20"を示している状態で、30秒以上そのままにしておくと運転時間表示（点滅）が温度表示に戻り、自動エコノミーランプが点灯し設定完了です。

5.自動エコノミー運転設定完了時刻から、エコノミー運転20時間行ないます。

(6) 自動エコノミー運転解除方法

自動エコノミー運転を解除する時には、設定する際の要領（1）～（4）でエコノミー運転時間を"0"に設定してください。自動エコノミー運転が解除されて［エコノミー運転ボタン］により運転を切り換えることができます。

保温機能停止について

（1）保温の機能を停止したいとき
操作パネルの［保温機能（入/切）ボタン］を3秒間押し続けます。
※このとき、「保温機能（入）ランプ」が消灯し、湯温が設定温度より低い場合でも、ヒーターによる加温を行ないません。

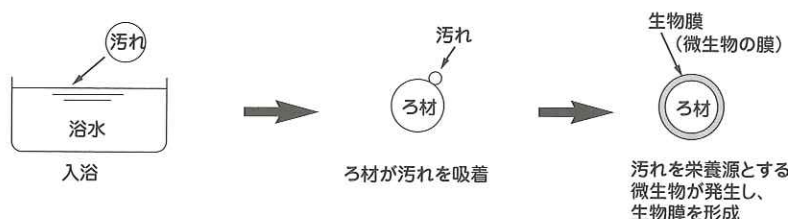
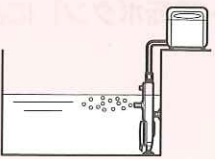
お知らせ

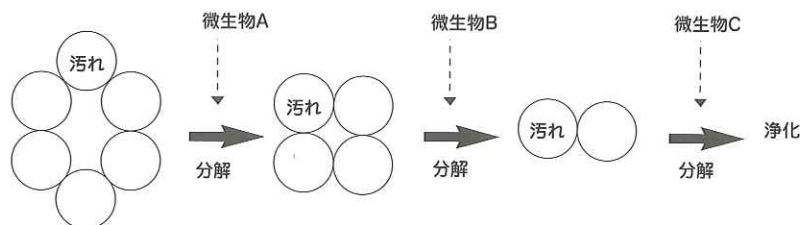
● ［保温機能（入/切）ボタン］により、保温機能を停止させても、本体のポンプの運転は停止しませんので引き続き浴水の浄化は行なわれます。

（2）保温機能を入に戻すとき
操作パネルの［保温機能（入/切）ボタン］をもう一度押します。
※このとき、「保温機能（入）ランプ」が点灯し、湯温を設定温度に保つようにヒーターが入/切を繰り返します。

浴水の浄化について

浴水中の汚れは、ろ材のまわりに生成された微生物の膜によって浄化されます。そのため、ろ材のまわりに有効な微生物の膜が形成される間は、浄化がうまく行なわれていないことがあります。通常この膜が形成されるまで1～2週間かかりますので、浴水が濁ったり臭いがある場合は浴水を交換してください。(P.29参照)

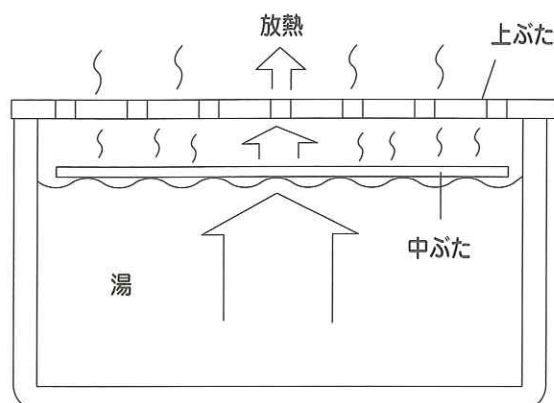
●浄化されるまで

●生物膜の中では

生物膜の中では、何種類もの微生物がそれぞれ自分の分担の汚れを分解して最終的に汚れが分解されます。

生物膜を早く形成させるには

どうする？	どうして？
・汚れを落としてから入浴する。 ・浴槽の中で、体をこすったりして浴水を汚さない。 ・濁った場合は浴水を交換する。	汚れが多過ぎるとある特定の微生物が多くなったり、環境が悪くなったりして、必要な微生物がなかなか生育できません。汚れを少なくするため、最初のうちは、濁ったり、臭いがある場合は浴水を交換してください。(P.29参照)
・最初の14日間は濁ってもろ材を洗わない。 ・強制的に熱洗浄しない。	ろ材のまわりに少しずつ生物膜が形成されていきます。ろ材を洗うとせっかく形成されてきた生物膜がはがれてしまいます。濁ったり、臭いがある場合は、浴水の交換をしてください。(P.29参照)
・入浴時以外でも泡出しユニットのジェットノズルから泡を出す。	浴水の浄化に活躍している微生物には、酸素が必要です。そのため、特に最初は泡を出し、浴水中に少しでも多くの酸素を送り込むことで微生物の成育を促します。

経済的なご使用方法

次のことを実施すると、電気料金の節約になります。

●浴槽の湯面に中ぶたを浮かし、その上に上ぶたをすると湯面からの放熱を減らすことができます。

●風呂釜を併用されている場合、逆流防止弁（別売品）を取り付けると風呂釜からの放熱を減らすことができます。

●浴水を入れる時や足し湯をする時は、お湯を入れてください。ヒーターの通電時間を短くし、電気代が節約できます。

●ジェットノズルより泡を出すとお湯が冷えやすいため、必要ない時（浄化が良い状態で行なわれており誰も入浴していない時）は泡を止めておいてください。ヒーターの通電時間を短くし、電気代が節約できます。

5 お手入れ

⚠ 注　意

●下記の「日常のお手入れ」に従って、正しくお手入れを行なう。
細菌が異常に増える恐れがあります。

日常のお手入れ

お手入れの種類	お手入れの頻度	参照ページ
ヌメリの除去	毎日	20ページ
トップフィルターの洗浄	毎日	21ページ
トップフィルターの交換	6カ月または破損時	21ページ
本体の自動熱洗浄	14日に1回 （初回は、設置後21日目）（自動）	15ページ
ろ材の手洗浄	3カ月に1回、本体、泡出しユニット、 ホースの洗浄と合わせて行なってください。	22ページ
本体、泡出しユニット、 ホースなどの洗浄	3カ月に1回	25ページ
風呂釜の洗浄	3カ月に1回、風呂釜をお使いの方は、本体、 泡出しユニット、ホースの洗浄と合わせて行なってください。	26ページ
紫外線ランプの交換	9カ月～12カ月に1回	27ページ
漏電保護プラグの点検	1カ月に1回	28ページ
浴水の交換	1カ月に1回以上。また浴水が濁ったり、 臭いが発生した場合は、浴水を交換してください。	29ページ

※ただし、毎日の入浴回数・人数や汚れの量などにより、それぞれのお手入れの頻度が短くなる場合があります。

<有料メンテナンスサービス>

※上記の日常のお手入れを行なうことができない場合は、保証期間内でも有料で承りますので販売店にご相談ください。

お願い

●本体内に汚れが付着し水流が弱くなったまま使い続けますと、故障の原因になりますので必ず定期的に洗浄などのお手入れをしてください。

ヌメリの除去

浴槽内面に付着したヌメリや汚れは、1日1回以上付属のスポンジなどで拭いてください。

浴水中に落ちた汚れはトップフィルターなどで除去されます。

以下のような状態になったときは、トップフィルターに原因していることがあります。次のお手入れ方法に従って正しくお手入れしてください。

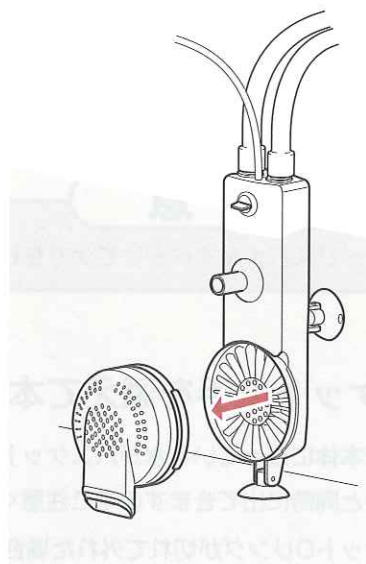
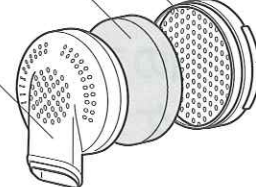
●ジェットノズルからの気泡の噴出が弱まった場合
●浴水の濁りや臭いが進行した場合
●ポンプが自然に停止する場合
●温度が上がらない場合
●本体から大きな音がする場合

トップフィルターの洗浄および交換

泡出しユニットのトップフィルターは、1日に1回以上（入浴時などに）洗浄してください。トップフィルターは6カ月ごとに、または破損時に交換してください。

（1）トップフィルターセットを少し回転させながら取り外し、浴槽外へ出します。

お願い

●浴水中に大きなゴミなどがないことを確認してください。トップフィルターがない状態で大きなゴミを吸うと故障の原因になります。

（2）トップフィルターセットからトップフィルターを取り出し、洗面器などにお湯を入れもみ洗いします。

（3）トップフィルターを逆の手順で泡出しユニット本体に取り付けます。

※トップフィルター枠のツマミは横にして取り付けてください。（P.13参照）

ろ材の手洗浄

ろ材の手洗浄手順

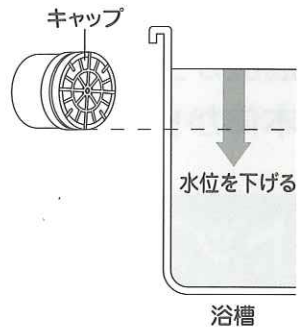
（1）本体の［運転ボタン］を押して、運転を停止してください。

お願い

●ろ材の手洗浄は風呂場などで行なってください。
ろ材に付着したヌメリなどで周囲が汚れます。

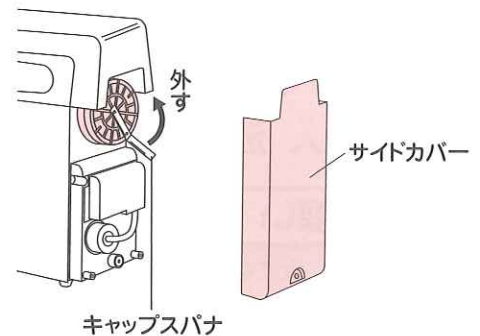
（2）浴水面が泡出しユニットの入水口または
キャップの位置より低くなるまで、浴水を抜いてください。

お知らせ

●浴水面をキャップの位置より低くなるまで下げてから
キャップを外してください。キャップの位置が浴槽の水面より
低い場合は、浴水があふれ出し,故障の原因になります。

（3）飾りねじを外しサイドカバーを外して、
付属のキャップスパナでキャップを左に回して
外してください。

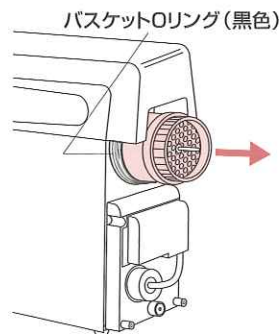
外す
サイドカバー
キャップスパナ

⚠ 注　意

●キャップスパナをすべらせてケガをしない。

（4）バスケットに手を添えて本体から取り出してください。

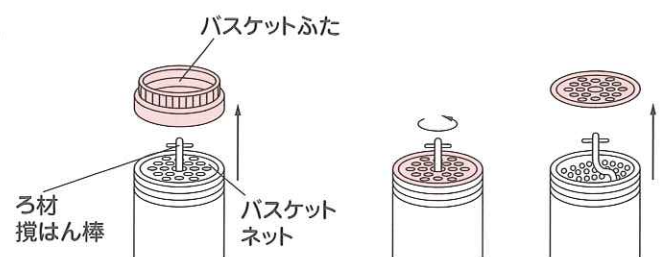
※この時本体に残っている水がバスケットを取り
出すのと同時に出てきますのでご注意ください。

※バスケットOリングが切れて外れた場合は、
販売店またはお客様相談室（P.35参照）
へご注文ください。

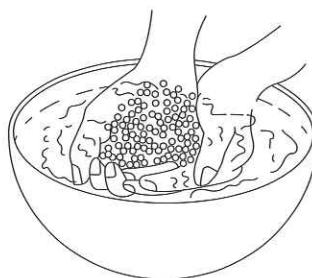
⚠ 注　意

●バスケット周囲はヌメリがあり
滑りやすく、重たいので、落と
してケガをしない。

●バスケットなど部品のエッジで
ケガをしない。

（5）取り出したバスケットの周囲のヌメリを
スポンジで洗い落とし、バスケットふた
を回して取り外します。

（6）バスケットネット中央部の切りかきと、
ろ材撹はん棒の向きを合わせ、バスケ
ットネットを取り外してください。

（7） バスケットからろ材を取り出し、別の容器に入れてください。

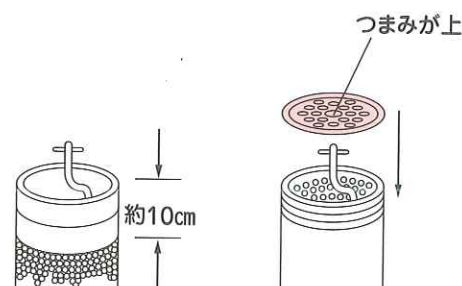
お願い

●この時、ろ材攪はん棒はバスケットの底に固定されていて抜けませんので、無理に引き抜かないでください。

（8） ろ材を残り湯などのぬるま湯を用い、手で軽く2～3回洗ってください。

（9） 洗い終わったろ材をバスケットの上部から10cm位のところまで入れます。この時、ろ材攪はん棒が中央にくるようにバスケットを上下に振動させたりして少しずつろ材を入れてください。

（10） バスケットネットの中央部の切りかきと、ろ材攪はん棒の向きを合わせて取り付けます。

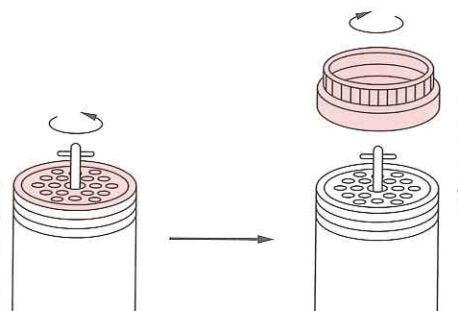
お願い

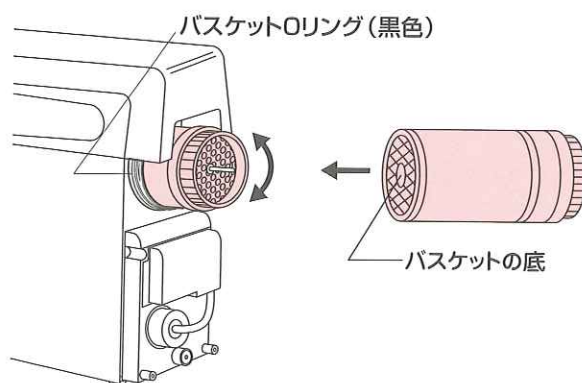
●バスケットネットの中央のつまみが上にあるように取り付けてください。

（11） バスケットネットを1/4回転まわしバスケットから取れないようにしてください。

（12） 最後に、バスケットふたを取り付けます。

（13） バスケットの上からぬるま湯を注いでください。ろ材に付着している余分な汚れをすすぎます。

⚠ 注　意

●バスケットネットの上からお湯を注ぐと、バスケットの底部からお湯が出るので注意する。

（14） バスケットをバスケットの底から本体に挿入します。バスケットを奥までセットしたところで少し回転させます。本体のバスケット挿入口からバスケットが出ないようにします。奥まで入っていないとキャップが締まらず、水漏れ原因になります。

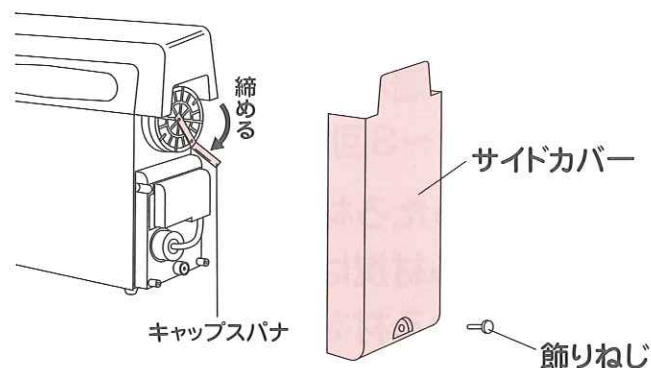
※バスケットOリングが、きちんとセットされていることを確認してください。バスケットOリングが切れて外れた場合は、販売店またはお客様相談室（P.35参照）へご注文下さい。

お知らせ

●バスケットOリングが外れていると本体へ水が浸入し、故障の原因になります。（P.8参照）

(15) キャップを締めてください。キャップをいったん左へゆっくり回し、キャップが平行になったところで右へ回して締め付け、最後にキャップスパナでしっかり締め付けてください。

※キャップ裏面のキャップOリングが、きちんとセットされていることを確認してください。(P.31参照)

お知らせ

●キャップが斜めになったりして正確に締まっていないと水漏れし、故障の原因になります。(P.31参照)

(16) サイドカバーを元通り取り付け、飾りねじを締めてください。

(17) 泡出しユニットのジェットノズルの上までお湯(水)を追加してください。

(18) 本体の[運転ボタン]を押して、浴槽内のお湯を循環させて運転開始してください。

※運転を再開しても、ジェットノズルからお湯が継続して流出しないときは、むかえ水(呼び水)(P.12〜13参照)を行なってから運転してください。

本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄

あらかじめ準備するもの

●24時間風呂専用洗浄剤

24時間風呂専用洗浄剤は、販売店またはお客様相談室（P.35参照）へご注文ください。

ご使用の際は洗浄剤の注意書をよく読んでご使用ください。

●ホース

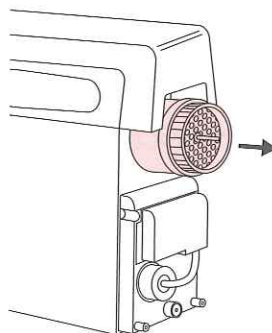
ホースは設置工事の際に残ったもの（1m程度）を使います。
ホースがない場合は、内径18mmの市販のホースをお買い求めください。

⚠注　意

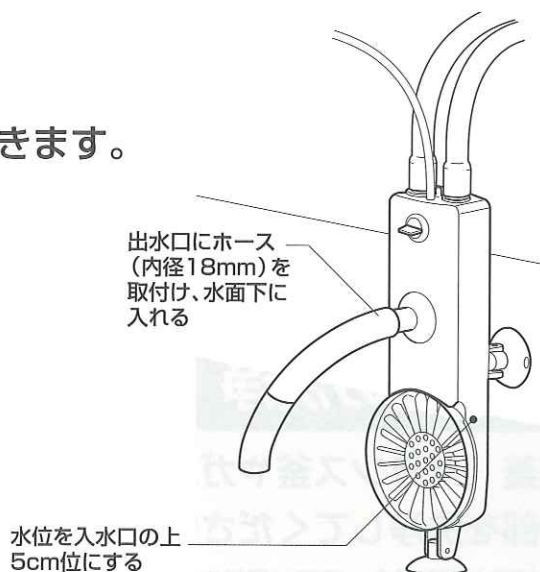
●中性または弱アルカリ性以外の洗浄剤は使わない。
本体やバランス釜などの故障、浴槽の変色・ヒビの原因になります。

（1）本体の［運転ボタン］を押し、運転を停止させ、ろ材の入ったバスケットを抜いてください。（P.22参照）

⚠注　意

●バスケット周囲はヌメリがあり滑りやすく、重たいので、落としてケガをしない。
●バスケットなど部品のエッジでケガをしない。

（2）バスケットを取り出したまま、元通りキャップを締め、本体の［運転ボタン］を押し、運転を開始し、浴水が循環することを確認します。（P.24参照）

※ポンプが停止する場合はむかえ水（呼び水）（P.12～13参照）を行なってください。

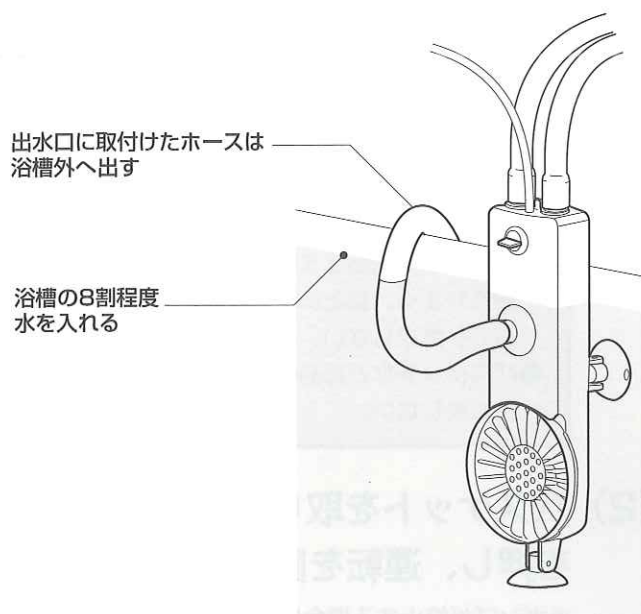
（3）運転しながら、浴槽の湯を右図のように、水位が入水口の5cmくらい上になるまで抜きます。

(4) 浴水中に、大きなゴミなどがないことを確認してください。
大きなゴミなどは取り除いてください。

(5) 24時間風呂専用洗浄剤約250gを洗面器等に入れて、約41℃の湯でよくかきまぜてから浴槽内に入れてください。

(6) 8時間以上運転します。長時間運転するほど汚れがよく落ちます。できれば一晩運転してください。

(7) 運転後、ホース内の汚れが出て水が濁ります。ここで本体の［運転ボタン］を押して運転を停止させ、浴槽の水を抜きます。

(8) 本体のキャップを外します。(P.22参照)
キャップの裏面をよく水洗いしてください。また、泡出しユニットの裏面も付属のスポンジや洗浄ブラシで汚れを落とし、シャワーなどで洗い流してください。

(9) キャップを取り付け、浴槽に8割程度水を新たに入れて、出水口のホースを浴槽外に出します。本体の［運転ボタン］を押して運転を開始してください。
※ポンプが停止する場合はむかえ水（呼び水）(P.12〜13参照）を行なってください。

(10) 出水口のホースを取り外し、泡出しユニット、浴槽を十分にすすぎ洗いします。

(11) すすぎ洗い終了後、バスケットをセットして(P.23参照)浴槽に給湯し、本体の［運転ボタン］を押して運転を開始してください。
※ポンプが停止する場合はむかえ水（呼び水）(P.12〜13参照）を行なってください。

風呂釜の洗浄

風呂釜（バランス釜やガス釜など）は、3カ月に1回程度、市販の風呂釜洗浄剤などで内部を洗浄してください。
※洗浄が不十分な場合、細菌が異常に増えたり、使用中に浴水が濁ったり、異臭が発生することがあります。

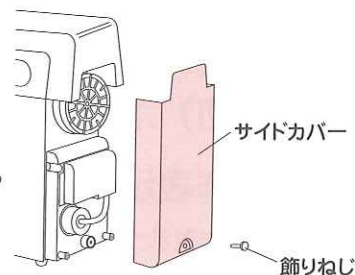
紫外線ランプの交換

紫外線ランプの寿命は9カ月～12カ月です。
寿命がきた場合、紫外線ランプ交換ランプが点滅します。
次の手順で紫外線ランプを交換して下さい。

(1) 本体の［運転ボタン］を押し、運転を停止させてください。

(2) 飾りねじを外し、サイドカバーを外してください。

(3) リード線のコネクターを外します。コネクターは、
上部のつまみを押さえて左右に動かしながら引っ張ると外れます。

(4) ランプキャップを手前に引き出して取り外します。

⚠ 注　意

- ●コネクターを外すときは、ケガをしないように気をつける。
- ●紫外線ランプは、ガラス製なので、割ってケガをしない。
- ●紫外線ランプの光は目を痛める恐れがあるので、直接見ない。

(5) 右図のように紫外線ランプを引き抜き出します。

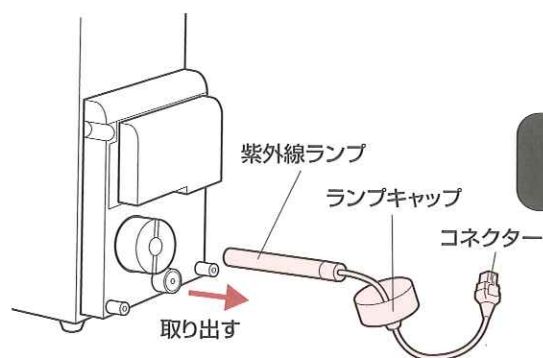
(6) 新しい紫外線ランプを差し込みます。

(7) ランプキャップをかぶせます。

(8) コネクターを接続します。コネクターは
一つの方向しか接続できない構造となっています。

(9) サイドカバーを取り付け、飾りねじで固定してください。

(10) 本体の［運転ボタン］を押して、本体を運転させてください。(P.12参照)

(11) 本体の［紫外線ランプ交換終了ボタン］を押します。紫外線ランプの積算時間がリセットされ、紫外線ランプ交換ランプが消灯します。

お知らせ

●紫外線ランプ交換ランプが点滅する前に紫外線ランプを交換した場合、［紫外線ランプ交換終了ボタン］を3秒間以上押してください。紫外線ランプの積算時間がリセットされます。

漏電保護プラグの点検方法

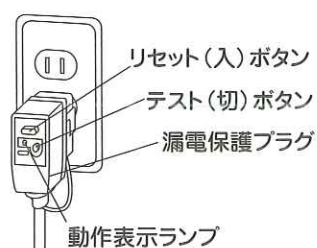
月に一度は、漏電保護プラグが正常に作動することを確認してください。

（1）漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んだまま、漏電保護プラグのテスト（切）ボタンを押してください。

（2）動作表示ランプが点灯すれば正常です。

※動作表示ランプが点灯しないようでしたら、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、お客様相談室（P.35参照）へご連絡ください。

（3）漏電保護プラグのリセット（入）ボタンを押し、本体に通電させます。動作表示ランプが消え、しばらくして運転が開始されます。

※ポンプが停止する場合はむかえ水（呼び水）（P.12～13参照）を行なってください。

浴槽のお湯を入れ替えるときには

1カ月に1回以上、または浴水が濁ったり、臭いが発生した場合や、
日常のお手入れの際にお湯を入れ替える場合は次の手順で行なってください。

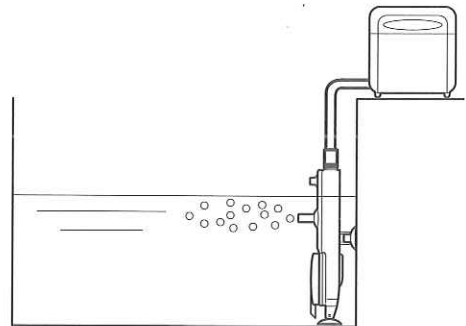
（1）本体の［運転ボタン］を押して、本体を停止させてください。

（2）浴槽のお湯を抜いてください。

（3）浴槽、泡出しユニットの汚れを、付属のスポンジや洗浄ブラシで落とし、シャワーなどで汚れを洗い流してください。

（4）泡出しユニットのジェットノズルが十分にお湯につかるまで、浴槽に新しいお湯を入れてください。

（5）本体の［運転ボタン］を押すと、
浴槽内のお湯が循環を始め
運転開始となります。

※運転を再開させても、ジェットノズルからお湯が継続して流出しないときは、むかえ水（呼び水）（P.12～13参照）を行なってから運転させてください。

長期間お使いにならないときには

（1）漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。

（2）ろ材は、「ろ材の手洗浄」（P.22参照）に従って洗浄します。その後、天日で乾燥させ保存します。

（3）本体内部は、「本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄」（P.25参照）に従って洗浄します。すすぎの終わった後、本体から水を抜きます。キャップは本体内部が乾くまで、開けておいてください。

（4）トップフィルターは「トップフィルターの洗浄および交換」（P.21参照）に従って洗浄し、日陰で乾燥させ保管します。

※再び使用される際は、「バスケットのセットのしかた」（P.23参照）及び「運転および停止方法」（P.12参照）に従って運転させてください。

⚠ 注　意

●**長期間本体を使用しない場合は、浴室から本機を取り外す。**
長期間、本体を停止させたままで湿気の多い場所に放置すると、再運転の際の感電・火災の原因になります。

6 お知らせ

浴水が濁ったり、臭いがあるとき

設置当初、浄化微生物がろ材に付着するまで1～2週間かかります。その間、浴水の浄化がうまく行なわれませんので、濁ったり、臭いがある場合は浴水を交換してください。(P.18，29参照)

点検1　設置時風呂釜の洗浄をしましたか？

配管内部の汚れが浴水中に出てくる場合がありますので、一度浴槽の水を捨てて、風呂釜内部をよく洗浄してから再度運転させてください。

点検2　トップフィルターを毎日洗っていますか？

トップフィルターの目づまりにより浄化能力が落ちる場合がありますので、トップフィルターは毎日洗ってください。

点検3　何日間使用しましたか？

設置またはろ材の洗浄をした後、浴水が濁っているようでしたら、濁った都度浴水を捨てて、新しいお湯と入れ替えて様子をみてください。(P.29参照) 2～3週間程経過しても、きれいにならないようでしたら販売店またはお客様相談室（P.35参照）へご相談ください。

点検4　追い焚き等での沸かしすぎはありませんか？

50℃以上のお湯が頻繁に本体の内部に入ると、ろ材に付着した微生物が不活発になります。その場合、浴水が濁ることがありますので、浴水が濁りましたら、元の状態に戻るまで浴水の交換を何回か行なってください。

点検5　1日にたくさんの人が入浴しませんでしたか？

例えば、毎日使用されている人数より、多くの人が入浴した場合、普段より浄化に時間がかかることがあります。

点検6　熱洗浄を頻繁に行なっていませんか？

必要以上に熱洗浄を行なうと浄化に影響をおよぼす可能性があります。その場合は、販売店またはお客様相談室（P.35参照）へご相談ください。

点検7　長期間ろ材などを洗浄せずに使用していませんか？

浴水がきれいな状態で数ヶ月使用した後、浴水が濁ってきた場合には、

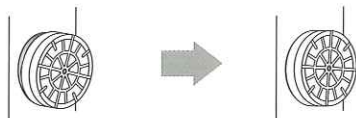
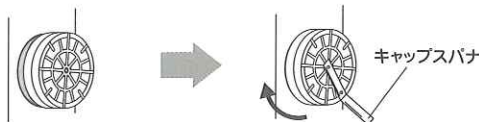
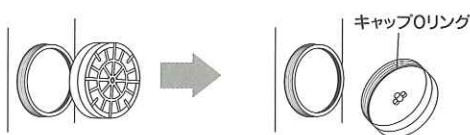
- ●トップフィルターの洗浄および交換（P.21参照）
- ●ろ材の手洗浄（P.22参照）
- ●本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄（P.25参照）に従って、
  洗浄してから再度取り付けて、運転させてみてください。
  ※ポンプが停止する場合はむかえ水（呼び水）（P.12～P.13参照）を行なってください。

※以上の点検でもきれいにならない場合には、販売店またはお客様相談室（P.35参照）へご相談ください。
なお、洗浄メンテナンスは保証期間内でも有料で承わります。

故障かなと思ったとき

Q1.水もれする

キャップの締め方が悪いと、本体の底から水もれすることがあります。
次のような原因が考えられますので、ご確認ください。

（1）キャップが斜めに
　入っている場合

（2）キャップの締め付けが
　不足している場合

（3）キャップ裏面のキャップ
　Oリングがきちんとセット
　されていない場合

Q2.温度が上がらない

（1）浴槽および浴水表面からの放熱が大きい。 → きちんと浴槽のふたをしてください。また、放熱しやすいお風呂（例.タイル風呂、大きな浴槽など）については断熱をきちんと行なってください。また、中ぶたを使用するのも、有効な手段です。（P.19参照）。

（2）循環流量が低下している。 → 循環流量が低下すると保温効率が低下します。トップフィルター、ろ材、本体、ホースを洗浄してください。

Q3.設定温度より表示温度が高い

（1）設定温度より表示温度が1℃高い。 → 本体の温度コントロールは、設定温度より、湯温が1℃低くなるとヒーターが入り、1℃高くなるとヒーターが切れるようになっていますので、1℃高い場合は、特に故障ではありません。

（2）設定温度より表示温度が2℃以上高い。 → 本体のポンプは、省エネのためポンプから発生した熱が、浴水に伝わるような構造となっております。そのため、夏場などで、保温性能の良いお風呂では、稀にポンプの熱により、湯温が設定温度より高くなることがあります。

Q4.表示温度と実際の湯温が違う

→ 温度測定を本体内部で行なっているため、配管の状況等により、実際の湯温と差が出ることがあります。

Q5.家庭の電流ブレーカーが頻繁に落ちる
→ 本体の電源容量はAC100V9Aです。ブレーカーが頻繁に落ちる場合は容量オーバーです。お近くの電力会社にご連絡ください。

Q6.突然、水流が強くなる
30秒間で水流が元に戻る。
→ 浄化促進のため、電源投入時（運転開始時）より24時間おきに、30秒間だけジェット運転を行なうよう設定されており故障ではありません。

Q7.浴槽の一部が茶色く変色した
→ 水道水に含まれる鉄分により浴槽の一部が茶色く変色する場合があります。浴槽メーカーへお問い合わせください。

Q8.チェーンなどのメッキがはがれた、サビた
→ 浴槽内の金属部については、サビる場合があります。なるべくステンレス製の部品をご使用ください。

Q9.温度表示部が「EO」の表示で点滅する

(1)「EO」と現在湯温とが交互に表示されながら運転している時。
［本体内部に設置されている水流センサーに汚れなどがついて、作動しなくなっている。］
→ [運転ボタン] を押して、運転を停止させ、3秒後に再度 [運転ボタン] を押して運転を再開させてください。（これを2回繰り返す）ポンプの水流によって汚れがとれることがあります。これにより、湯温表示に戻れば問題ありません。それでも、点滅が継続するようであれば、販売店またはお客様相談室（P.35参照）へご連絡ください。

(2)「EO」のみが点滅し、運転が停止している時。
［本体内のヒーターに汚れなどが付着して、浴水に熱が伝わりにくくなっている。］
→ 本体内が熱くなっていますので、[運転ボタン] を押して、運転を停止させ、しばらく放置してください。その後、ヒーターに付着している汚れを除去するため、本体内の洗浄を行なってください。（P.25参照）それでも点滅が継続するようであれば、販売店またはお客様相談室（P.35参照）へご連絡ください。

異常表示と処置方法

温度表示部に異常表示が出たときは、下記の処置を行なってください。
処置後、なお異常表示が出る場合は、漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて、お客様相談室へご連絡ください。

表示例	原因	処置方法	頁
E0	本体、ホースの目づまり	本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄を行なってください。	25、32
E1	水温センサーの故障	[運転ボタン]を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店またはお客様相談室（P.35参照）へご連絡ください。	
E2	追い焚き、その他による浴水の温度上昇（水温センサー［47℃］の作動）	浴水の温度を設定温度付近まで下げ、［運転ボタン］を押して本体を停止させ、しばらくして再度押して下さい。	
E3	むかえ水不足　本体内空気吸入	再度むかえ水を行なってください。（むかえ水を長めに行なってください）	12、13
	トップフィルターの目づまり	トップフィルターの洗浄を行ない、[運転ボタン］を押して運転を再開させてください。	21
	ろ材、本体、ホースの目づまり	ろ材、本体、ホースなどの洗浄を行なってください。	22、25
E4	ろ材、本体、ホースへの汚れ付着	ろ材、本体、ホースなどの洗浄を行なってください。	22、25
E5	ろ材の目づまり	ろ材を手洗浄してください。	22
	バスケットのセットの不良	バスケットをセットし直してください。	23
E6	浴水の温度上昇（過昇保護［53℃］で作動）	［運転ボタン]を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店またはお客様相談室（P.35参照）へご連絡ください。	
E7	切換弁の故障		
E8	コントロールボックスの故障		
E9	熱洗浄時の異常		
（表示なし）	運転ボタンが押されていない。	［運転ボタン］を押してください。運転ランプが点灯します。	
	電源コンセントから漏電保護プラグの抜け	漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んでください。	
	家庭用の配電盤のブレーカーの作動	他の機器との併用をやめ、ブレーカーを復帰させてください。	
	傾斜センサーの作動（漏電保護プラグの動作表示ランプが点灯）	本体の傾きを修正して漏電保護プラグの［リセットボタン］を押してください。運転が継続すれば問題ありません。（注：運転が継続しない場合は本体より漏電している恐れがありますので販売店またはお客様相談室（P.35参照）へご連絡ください。）	

7 仕様

項目		仕様
型式		LC-361
本体設置場所		浴室内
本体外形寸法		高さ533×幅500×奥行175mm
本体質量		約18kg（ろ材を含む）
定格電圧		AC100V
定格周波数		50/60Hz
定格消費電力		100W
ヒーター消費電力		750W
最大消費電力		850W
制菌システム		紫外線式（6W）
		高温加熱式
浄化システム		生物浄化
水質 ※当社規定条件にて	濁度	2度以下
	過マンガン酸カリウム消費量	25ppm以下
	大腸菌群	1個未満/ml（不検出）
	レジオネラ属菌	100CFU未満/100ml
対応のべ入浴人数		7人以下/日
対応浴槽容量		400リットル浴槽（湯量320リットル）まで
お手入れの方法		取扱説明書P.22参照
消耗品	トップフィルター	6カ月または破損時に交換
	紫外線ランプ	9カ月～12カ月に1回交換
温度表示		デジタル表示
温度調節範囲		35～45℃（設定1℃毎）、OFF
循環水量調節		3段階切替方式（エコノミー、ノーマル、ジェット）
安全装置		・ポンプ空運転防止装置（水流センサー） ・浴水温度過昇防止装置（過昇保護センサー） ・温度制御装置（水温センサー）の断線検知 ・自動洗浄ロック検知 ・転倒時電流遮断装置（傾斜センサー） ・過電流保護装置（管ヒューズ15A） ・温度ヒューズ（130℃） ・漏電保護装置（漏電保護プラグ、感度電流6mA）
電源コード		7m

8 アフターサービスについて

・保証書について

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、お買上げ後、販売店・工事店が所定事項を記入した後にお渡しいたしますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

・保証について

保証期間はお買上げ日から1年間です。ただし、1年以内でも洗浄メンテナンスは有料で承ります。その他詳細は保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店、または下記のお客様相談室へご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

・補修用性能部品について

弊社はこの製品の補修用性能部品を、製造打切り後7年間保有しています。性能部品とは、製品の機能を維持するのに必要な部品のことです。

・修理を依頼されるときは

「浴水が濁ったり、臭いがあるとき」(P.30参照)「故障かなと思ったとき」(P.31参照) または「異常表示と処置方法」(P.33参照) をよくご覧のうえ、再度お調べください。
それでも調子が悪い場合は漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて販売店または下記のお客様相談室へご依頼ください。

・トップフィルターなどのご購入について

トップフィルター、紫外線ランプなどのご購入については、本体をお買上げの販売店へお問い合わせください。

・アフターサービス、またはお手入れでお困りのときは

その他アフターサービスについてのご不明な点やお手入れでお困りのときは、下記のお客様相談室へご相談ください。お手入れについては、有料にてメンテナンスを承ります。

・移転などされる場合には必ず下記お客様相談室までご連絡ください。

●本機に関するお問い合わせやご質問は、下記お客様相談室へお願い致します。

株式会社 ブライトホームサービス
〒136-0071　東京都江東区亀戸1-8-7
飯野ビル7F

お客様相談室(フリーダイヤル)
0120-39-9901
(受付時間　10:00～17:00　土曜・日曜・祝日は除きます)

設置日　　　　年　　　　月　　　　日

販売店名

TEL

取付工事者名

TEL

製造番号

2013年10月10日作成

旭硝子生活関連事業承継
リビングテクノロジー株式会社
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台3-4